〔ダイアジノン乳剤〕

アグロス
ダイアジノン®乳剤 40

農林水産省登録　第１８１３６号
性　　状：淡黄色澄明可乳化油状液体
毒　　性：劇　物
危 険 物：第４類第２石油類　Ⅲ
有効年限：５　年
包　　装：500 ㎖×20 本

有効成分：ダイアジノン(PRTR・１種)……40.0%
補助成分：キシレン(PRTR・１種)……28%以下　エチルベンゼン(PRTR・１種)……22%以下

ダイアジノンは日本化薬㈱の登録商標

こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るｉ－農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報がご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については 11 頁をご覧ください。

〔適用と使用法〕

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期*	総使用回数*
キャベツ	アオムシ・コナガ アブラムシ類	1000 倍	100～300 ℓ	30 日前	２回
	キスジノミハムシ	1200 倍			
ブロッコリー カリフラワー	アオムシ・コナガ アブラムシ類	1000 倍			**本　剤：２回** ダイアジノン：２回 (粒剤の生育期の処理は１回)
	キスジノミハムシ	1200 倍			
	キボシマルトビムシ	700 倍			
ほうれんそう	アブラムシ類	1000 倍		21 日前	**本　剤：２回** ダイアジノン：２回 (＃1)
なす (露地)	アブラムシ類 テントウムシダマシ			収穫開始３日前	**本　剤：３回** ダイアジノン：３回 (粒剤の生育期の処理は２回)
	ハダニ類	1000～2000 倍			
すいか メロン	アブラムシ類	1000 倍		14 日前	**本　剤：４回** ダイアジノン：４回 (粒剤の生育期の処理は３回)
	キボシマルトビムシ	700 倍			
	ハダニ類	1000～2000 倍			
きゅうり	アブラムシ類	1000 倍		植付時	**本　剤：１回** ダイアジノン：２回
	ハダニ類	1000～2000 倍			
ねぎ わけぎ	ネギコガ アブラムシ類	1000 倍		21 日前	２回
	アザミウマ類	700～1200 倍			
	ネギハモグリバエ	1000～2000 倍			
	タマネギバエ	700 倍			
あさつき	ネギコガ アブラムシ類	1000 倍		30 日前	
	アザミウマ類	700～1200 倍			
	ネギハモグリバエ	1000～2000 倍			
	タマネギバエ	700 倍			
たまねぎ	アブラムシ類	1000 倍		21 日前	
	アザミウマ類	700～1200 倍			
	ネギハモグリバエ	1000～2000 倍			
	タマネギバエ	700 倍			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期*	総使用回数*
ばれいしょ	アブラムシ類 テントウムシダマシ	1000 倍	100～300 ℓ	７日前	本　剤：３回 ダイアジノン：３回 （#2）
さやいんげん	アブラムシ類			収穫開始７日前	本　剤：３回 ダイアジノン：３回 （#3）
	ハダニ類	1000～2000 倍			
さやえんどう 実えんどう	アブラムシ類	1000 倍		収穫開始14 日前	本　剤：３回 ダイアジノン：６回 （#4）
	ハダニ類	1000～2000 倍			
芝	コガネムシ類幼虫	800 倍	3 ℓ/㎡	発生初期	４回
	シバツトガ・スジキリヨトウ	1000 倍	0.3~1 ℓ/㎡		
	シバオサゾウムシ		0.3~0.5 ℓ/㎡		

#1：は種時及びは種前の土壌混和は合計１回　　使用方法：散布
#2：植付前の土壌混和は１回
#3：種子粉衣は１回、粒剤は２回
#4：種子粉衣は１回、粒剤は２回、乳剤は３回

⚠効果・薬害等の注意

●使用量に合わせ薬液を調整し、使い切る。
●石灰硫黄合剤との混用はさける。
●芝の害虫防除に使用する場合、コガネムシ類幼虫には散布液が土壌中に十分しみ込むように散布し、シバツトガ、スジキリヨトウには芝表面、地際にまきむらのないように散布する。
●自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意する。

⚠安全使用上の注意

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
　○ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
　○受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
　○関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
●医薬用外劇物。取扱いには十分注意する。
　誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。
　本剤使用中に身体に異常を感じた場合は直ちに医師の手当を受ける。
●本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びＰＡＭ製剤がある。
●原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意する。
　また散布液も眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。
　眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
●皮ふに付着しないよう注意する。
　付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。（刺激性）
●散布等作業の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用する。

作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼する。

●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

●ハウス内での散布後は、十分に換気し入室する。

●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

●水産動植物（甲殻類、ドジョウ、ボラ）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。比較的低濃度でも魚が平衡失調等を起こすので、養殖池等周辺での使用はさける。

●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

●危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意する。

●火気をさけ、直射日光があたらない鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管する。

12 頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－D も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

●有機リン系殺虫剤です。

●作用機作はコリンエステラーゼの活性を阻害し、害虫の神経機能に障害を起こして、殺虫作用を示します。

●害虫に対して接触効果、食毒効果、ガス効果があります。